

ココ掘ネ!!



土掘リ

アフリカタテガミヤマアラシの得意技... それは
野生では、日中の暑い日差し、夜の急激な冷え込みから
身を守るため 穴を掘って暮らします



大森山のホリホリタイムは 昼すぎから夕方 にかけてが多い★
ちなみにホリホリしないところも...
地上性のヤマアラシはトイルが決まってどぶんばるところはいつも同じさー
さがしてみてもいいよ



カナダヤマアザシ

葉

オレンジ色して
いる。
なぜか?

体色

茶色。木に登ると
おかしな色になる。
冬になるとフワフワの
冬毛になる



トゲ 3万本

防御に用いる。

トゲは硬くて先が鋭い
うえ、釣り針のような
返しがついて棘と
棘の間へ突っ込んでしまう。

前足

木に登るための
装置(爪)の代わりに

アフリカタテガミヤマアラシ

一夫一婦。生まれたばかりの赤ちゃんは眼がパッチリ開き体毛もお母さんと一緒に生えそろうています。生まれる時も固いトゲとイメージしますが初めは柔らかくフニャフニャしていて数時間後には固くなっていき数日でタワシ位のかたさになります。

私の名はワヤです。



食事中で「おけい!」
おんが、おでさる?
飼育員さん...

カナダヤマアラシ

一夫多妻。秋から初冬にかけて繁殖期で妊娠期間は約25日程度で1回の出産で1子でお体重は500g位で見た目はタワシが知れ口先く感じて生後2~5日目には木に登り育児は雌だけが行う(今の時代とは逆行)離乳は5か月で成熟するは



約2歳位でお写真はモズクです。可愛いと思って撫でたりのですがトゲが刺さると抜けな状況になります。

モズクもお客さんから声をかけられたら動いて歩きだすかも?

めんこいでしょ。



オオモリヤマZOO外伝



アフリカ動物園がミヤマアラシ

つめ

土を掘るため、
鋭くはないが
丈夫で固いつめ。

* 一日中ずーとホリホリ
してるから展示場はデロデロしてる

歯

ネズミの仲間
なので歯をけずるため
固い物をかじる

* ちなみにヤマアラシは野生で「骨」をかじる。
ライオンとガの食べ残したやつね!
歯をけずるためもあるけど「カルシウム」を
とるために食べているらしいです



とげ

・髪の毛などの体毛
がカたく変化したもの。
・しましまはよりクン
を感じる模様。
・背中のトゲは
クシクシのように広がる。
お尻の太いトゲで相手
を刺すが毒はない。

* トゲをゆらすと「チラチラ」「カカカ」となる

かお^顔

・目はあまりよくないが
鼻はきく。
よく見るとめんこい



アフリカタテガミヤマアラシ

アフリカの密林や半砂漠地帯に生息。植物食で主に植物の根、球根、果実などを食べる。夜行性で、昼間は主に岩の割れ目や岩穴、他の動物(ツチブタなど)が捨てた地中の巣穴に身を隠し、休息を取っている。地中の巣穴は自分で掘って修復することもある。前足は食べ物を押さえつけたり、穴を掘ったりする。後ろ足は威嚇をするときに、地面を踏みつけて大きな音を立てる。妊娠期間は112日ほど。



体にはとても大きな鋭いとげ(針)が生えており、プラスチックのような手触りをしている。尾もとげで覆われており、尾のとげはふるわせてガラガラと音を立てる。背中にある細長い白黒のとげはクジャクの羽の様に広げることができる。とげを広げて自分の体を大きく見せる役割があり、縞模様は警戒色(危ない事を知らせる為の色)の役割がある。また、攻撃をするときは後ろ向きに敵に向かっていき、背中中央辺りにある、太いとげを刺して攻撃をする。とげは簡単に抜け落ちる様になっている。

カナダヤマアラシ

北アメリカやメキシコ南部、中央アメリカ、南アメリカの北部の森林地帯に分布している。主に樹上で生活をしており、樹洞や土の穴、岩穴などに数頭から20頭以上も集まってすんでいる。木登りは得意だが、動作はのろい。夏は植物の葉を食べ、冬には常緑樹の細い枝の樹皮を食べている。前足も後ろ足も、木に登りやすい様に曲がったかぎ爪を持っている。妊娠期間は210日ほど。



約10倍に拡大!!



Aは先端。Bは根本の球状部。

尻尾は××スツキツ!



アフリカタテガミヤマアラシの様に太いとげはないが、全身には小さくて細かい針が約3万本生えている。特に腰や尾の辺りには多く生えている。敵が近づくと尻を敵に向け、敵が手を出してきたと同時に尾をふり、攻撃をする。とげは先端が鋭く、根元は皮膚に浅く生えているだけで抜けやすくなっている。とげにはかえし(ひっかかりやすい様にギザギザした物がついている)があり、一度刺されると簡単には抜けなくなっている。